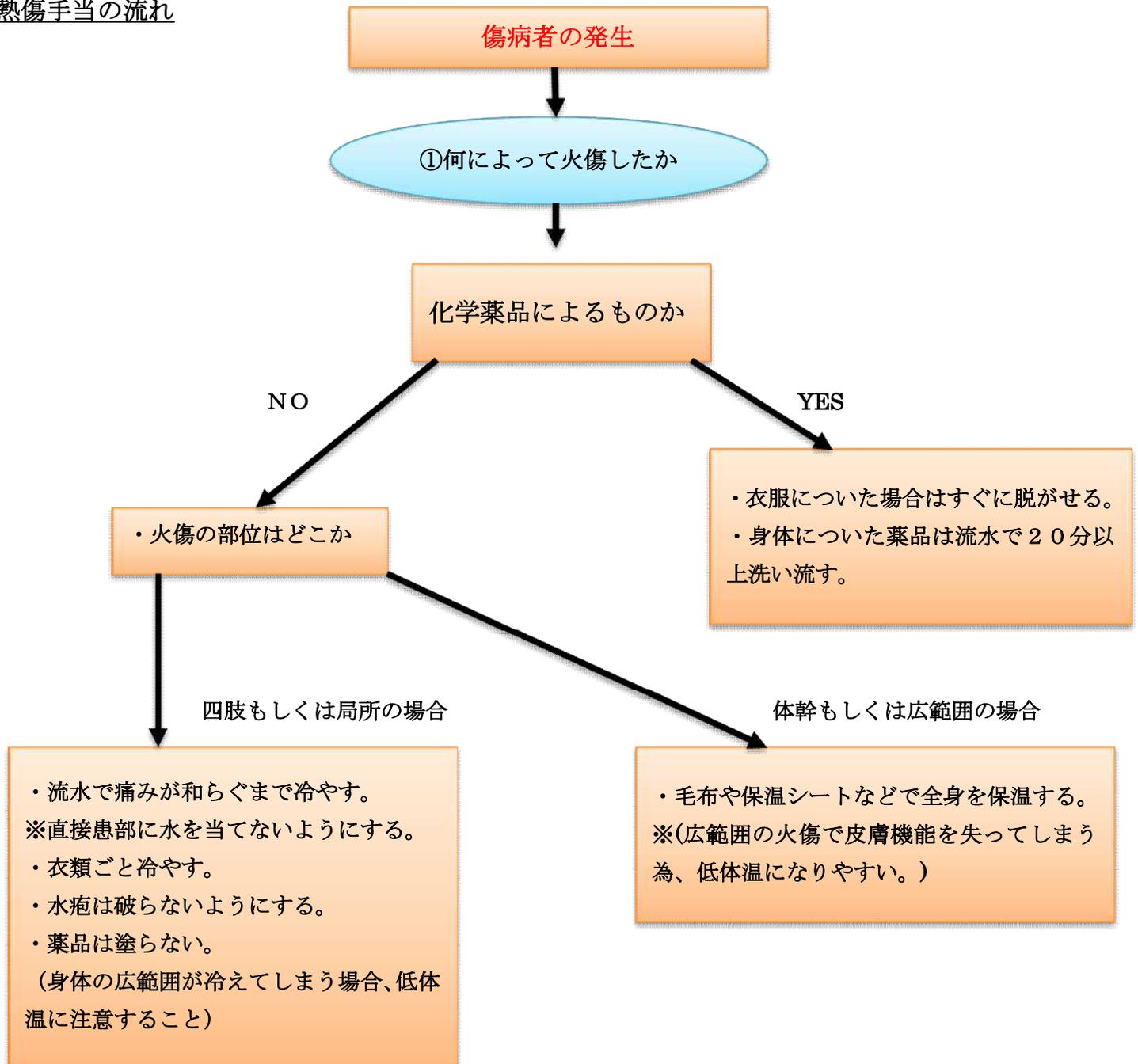


熱傷手当の流れ



発生

①何によって火傷したか

化学薬品によるものか

NO

YES

火傷の部位はどこか

衣服についてはすぐに脱がせる。
身体については流水で20分以上洗い流す。

四肢もしくは局所の場合

体幹もしくは広範囲の場合

流水で痛みが和らぐまで冷やす。
※直接患部に水を当てないようにする。
衣類ごと冷やす。
水疱は破らないようにする。
薬品は塗らない。
(身体の広範囲が冷えてしまう場合、低体温に注意すること)

毛布や保温シートなどで全身を保温する。
※(広範囲の火傷で皮膚機能を失ってしまう為、低体温になりやすい。)